


2019年3月期 第2四半期決算の概況



2018年10月19日(金)
モーニングスター株式会社
代表取締役社長 朝倉 智也

Part 1

連結決算の概況

連結業績

営業利益、経常利益は9期連続増益、7期連続過去最高益を更新

(単位:千円)

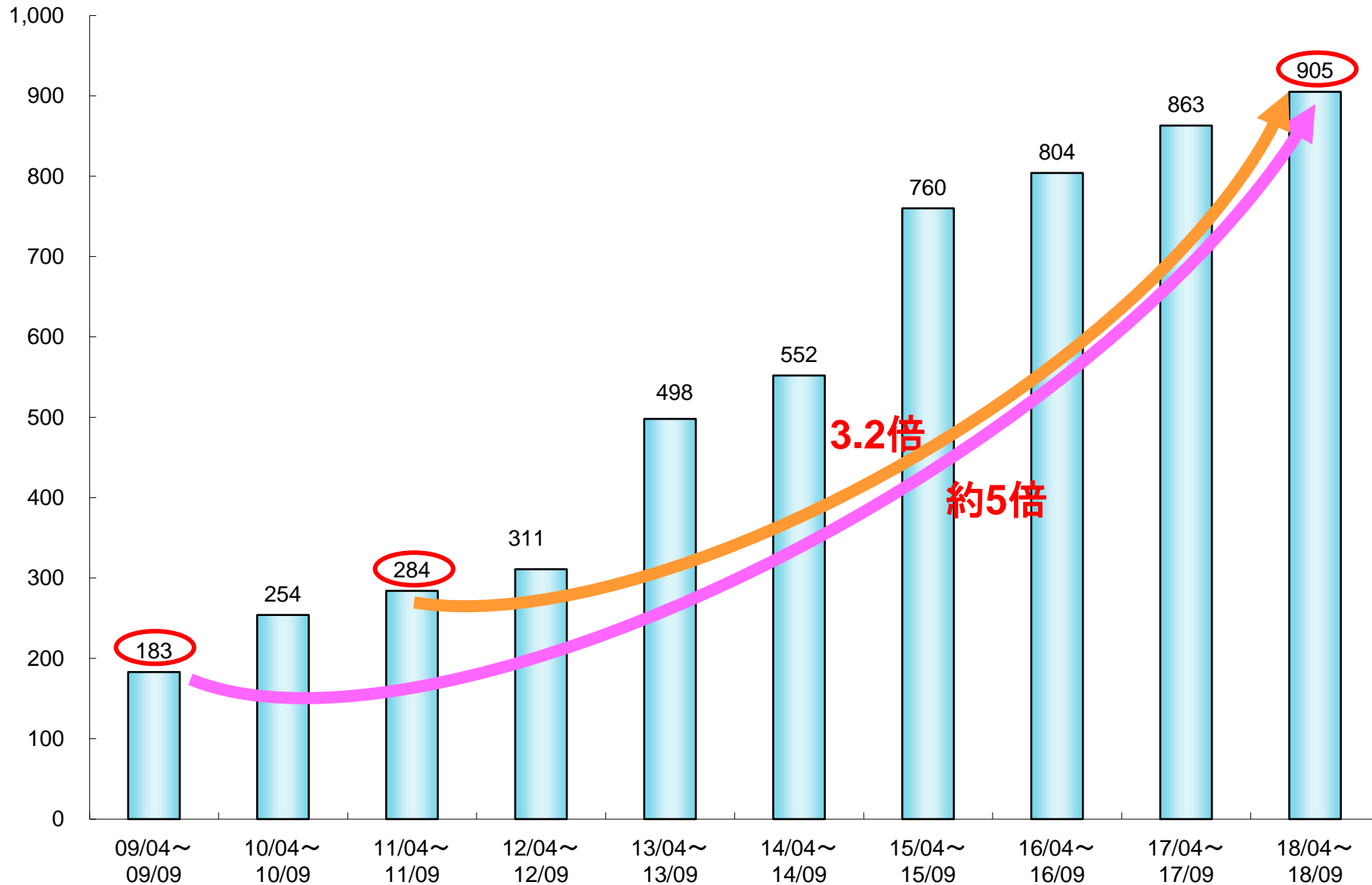
	2018年3月期 第2四半期 (2017年4月～9月)	2019年3月期 第2四半期 (2018年4月～9月)	増減率 (%)
売上高	2,848,310	3,230,428	13.4
営業利益	863,576	905,446	4.8
経常利益	910,833	981,276	7.7
当期利益	614,855	645,592	5.0

※当期利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益を意味する。

連結営業利益の推移

連結営業利益は7期で3.2倍、9期で5倍の増益を達成

(単位:百万円)



投資信託マーケットの概況

(単位:兆円)

	2017年9月末	2018年9月末	増減率 (%)
公募投信の純資産額	63.7	65.7	3.3

※投信協会のデータを基にモーニングスター作成
国内公募追加型株式投信(ETF等除く)を対象

(単位:兆円)

	2018年3月期 第2四半期 (2017年4月~9月)	2019年3月期 第2四半期 (2018年4月~9月)	増減率 (%)
公募投信の設定額	12.8	10.8	△15.6
公募投信の 新規設定本数	223本	198本	△11.2

※投信協会のデータを基にモーニングスター作成
国内公募追加型株式投信(ETF等除く)を対象

セグメント別の売上高

(単位:千円)

セグメント別売上高	2018年3月期 第2四半期 (2017年4月～9月)	2019年3月期 第2四半期 (2018年4月～9月)	増減率 (%)
ファイナンシャル・サービス事業			
データ・ソリューション	959,842	859,049	△10.5
メディア・ソリューション	487,214	536,044	10.0
計	1,447,057	1,395,094	△3.6
アセットマネジメント事業			
アセットマネジメント	1,401,253	1,835,334	31.0
連結売上高	2,848,310	3,230,428	13.4

データ・ソリューション事業の売上高の内訳

(単位:千円)

セグメント	サービス/プロダクト	2018年3月期 第2四半期 (2017年4月～9月)	2019年3月期 第2四半期 (2018年4月～9月)	増減率 (%)
データ・ ソリューション	タブレットアプリ&PC向けデータ	430,468	440,002	2.2%
	フィンテック(ロボアド)関連ツール	97,848	66,405	△32.1%
	ファンドレポート	153,048	111,520	△27.1%
	株式情報関連(株式新聞含む)	273,414	237,623	△13.1%
	合計	959,842	859,049	△10.5%

※その他の売上は上記数値から除外

モーニングスターの主要KPI (Key Performance Indicator)の伸び率

	2018年3月期 第2四半期 (2017年4月～9月)	2019年3月期 第2四半期 (2018年4月～9月)	増減率 (%)
① { タブレットアプリの 提供社数	77	150	94.8
① { タブレットアプリの 提供台数	47,538	59,647	25.5
② { スマートフォンアプリの ダウンロード数	574,727	668,108	16.2
③ { SBIアセットマネジメントの 運用残高	2,701億円	3,045億円	12.7

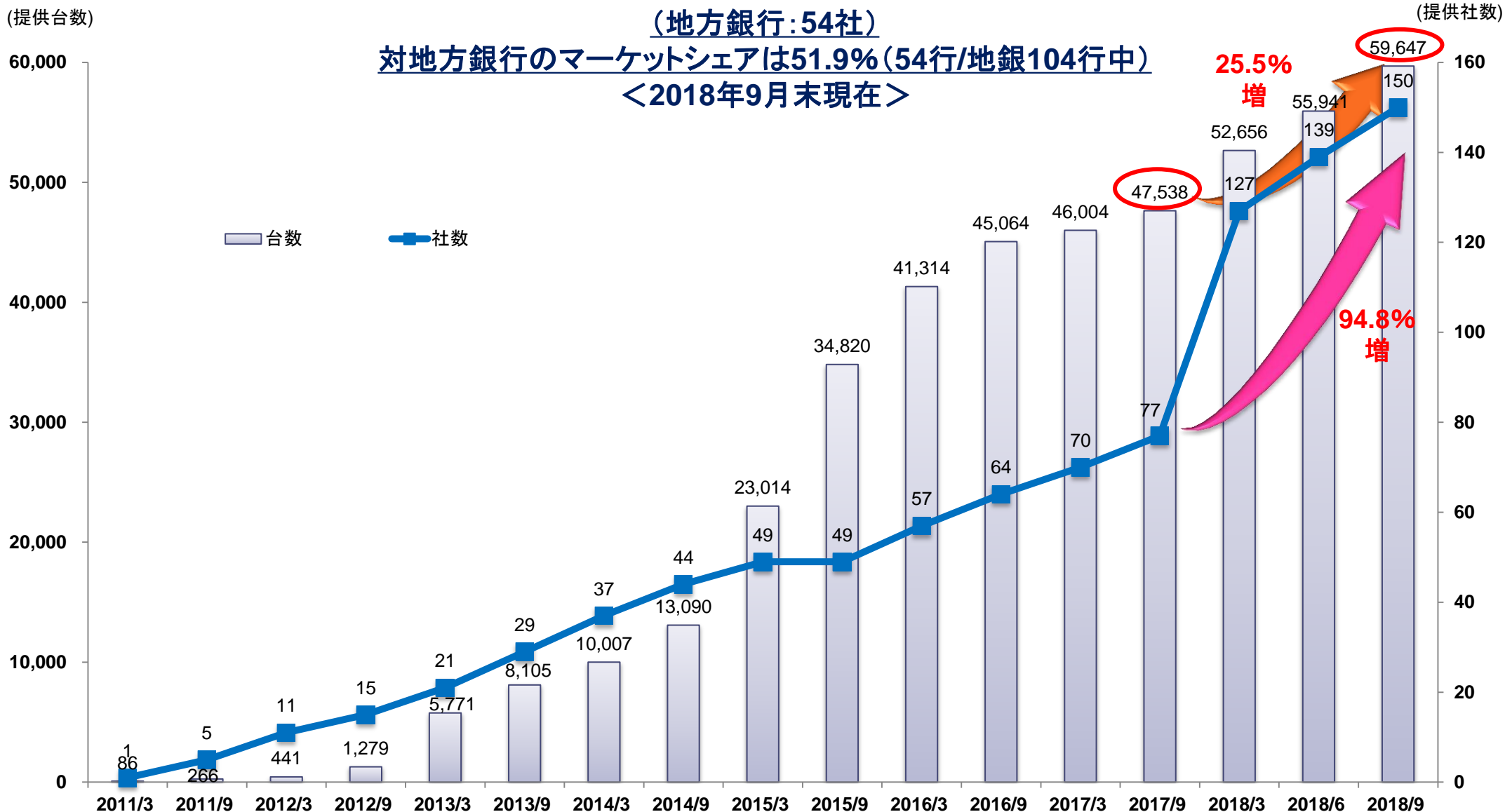
大幅に増大するタブレットアプリの提供社数及び提供台数

提供社数:150社 / 提供台数合計:59,647台

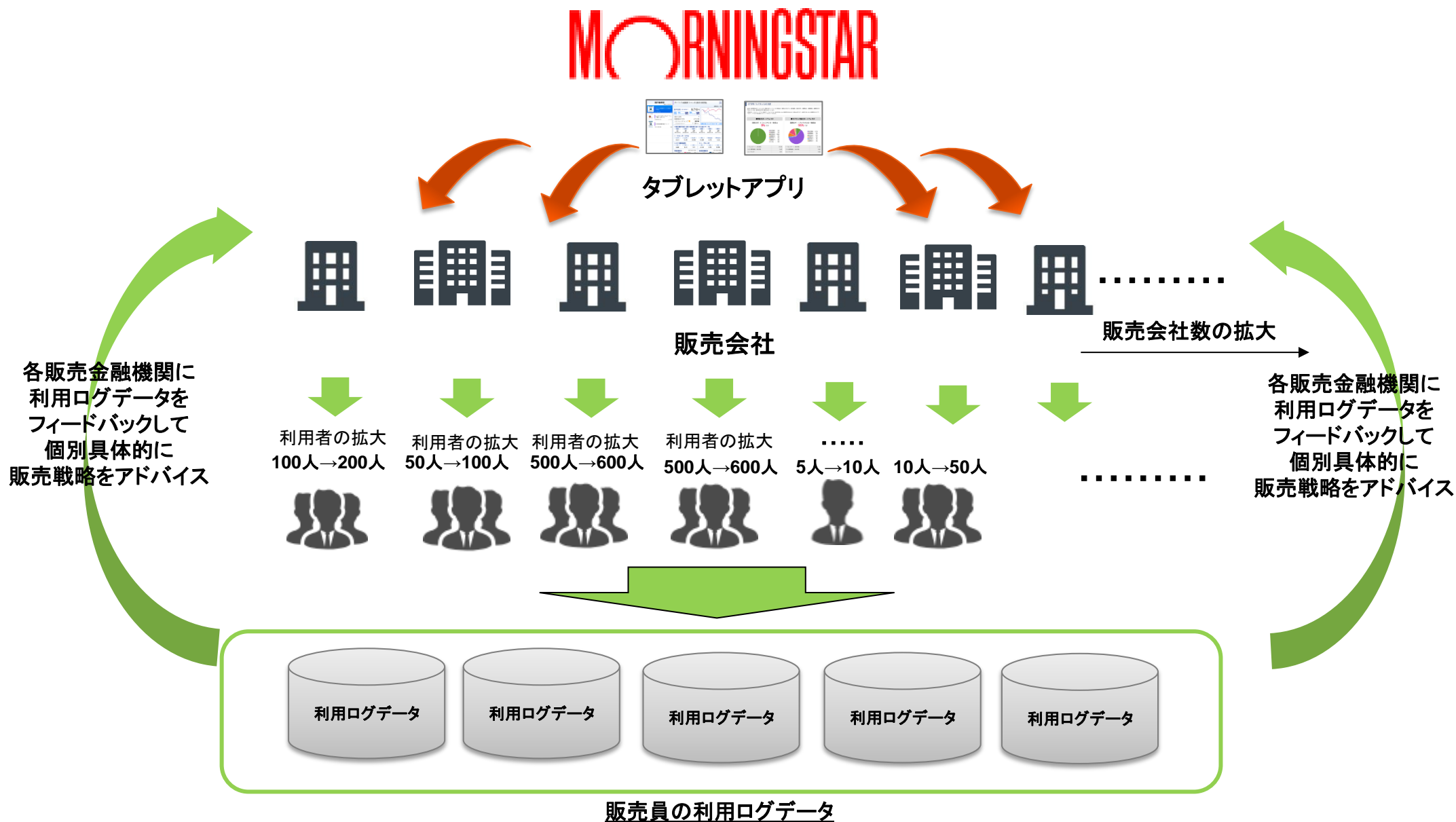
(地方銀行:54社)

対地方銀行のマーケットシェアは51.9%(54行/地銀104行中)

<2018年9月末現在>



タブレットアプリの利用ログをベースに販売戦略をアドバイス



タブレットアプリはファンドデータに加え、 ロボ・アドバイザー、ライフプランシミュレーションを付加

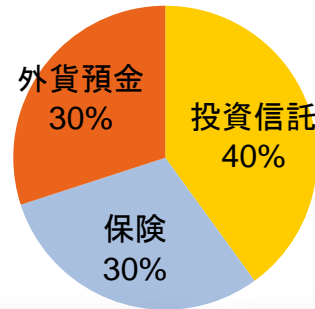
ファンドデータ

ロボ・アドバイザー
(運用シミュレーションツール)

ライフプラン
シミュレーション

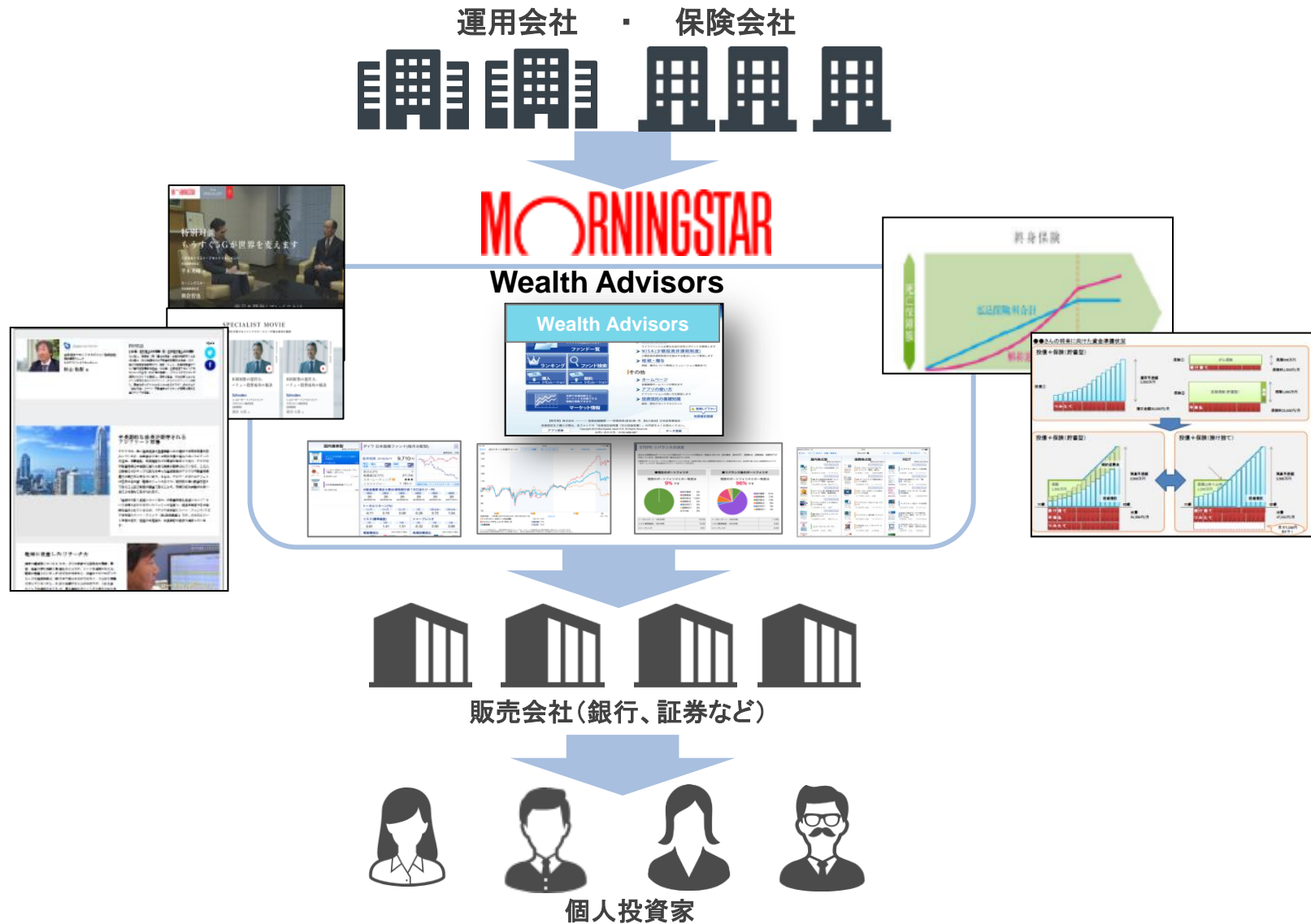
(投信、保険、外貨預金等を
組み合わせたシミュレーションツール)

(相続、贈与、財産管理等)



タブレットアプリは「投資信託INDEXから」「Wealth Advisors」へ進化し、投資アドバイスの『プラットフォーム』へ

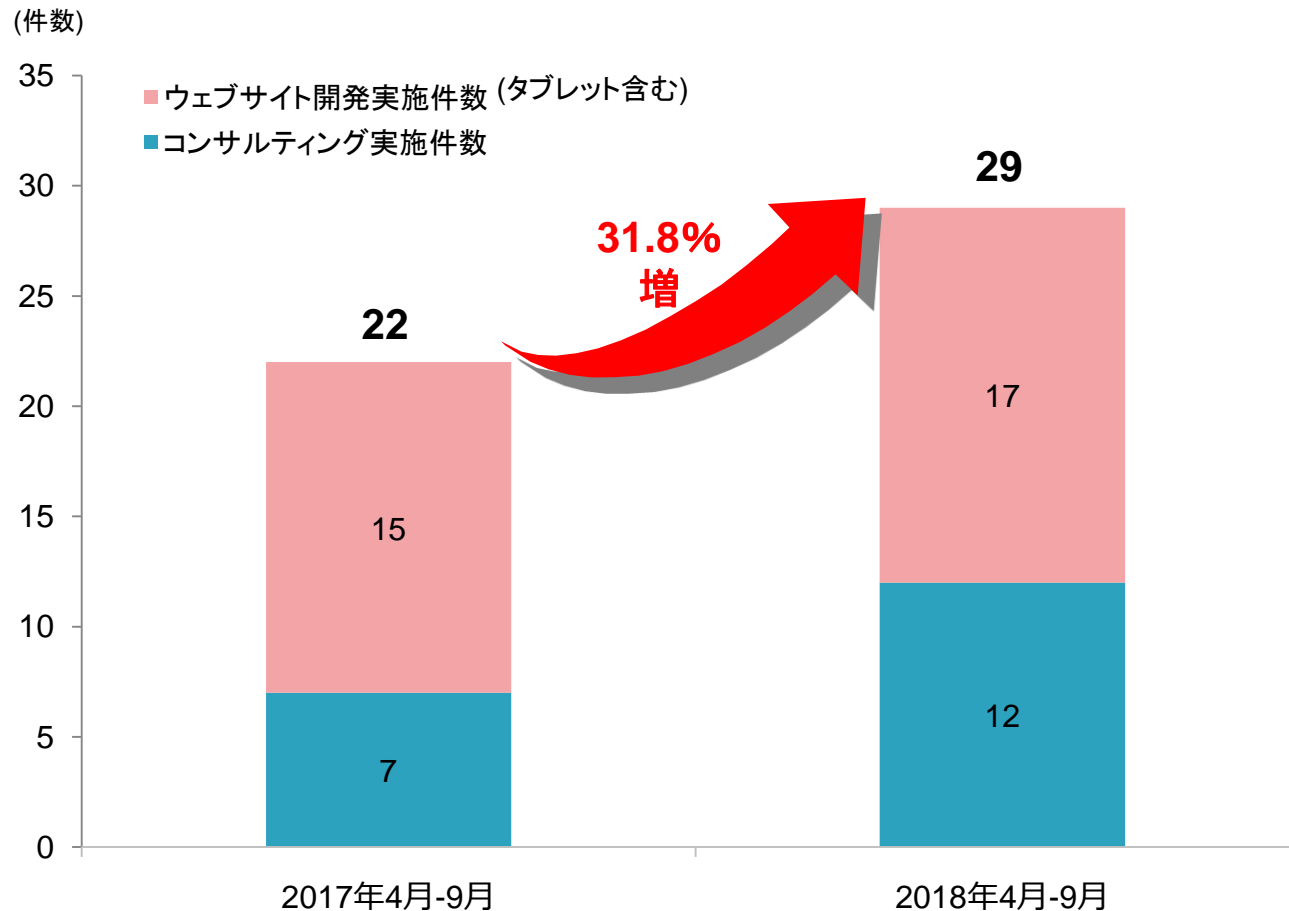
個人投資家と販売金融機関、商品を製造する運用会社、保険会社を繋ぐ『プラットフォーム』へ



KPI - ① タブレットアプリの提供社数と提供台数

ゴメス・コンサルティングのウェブコンサルティング力が、 地域金融機関とのリレーションシップに貢献

ゴメス・コンサルティング事業の金融機関向けサービスの提供の実績

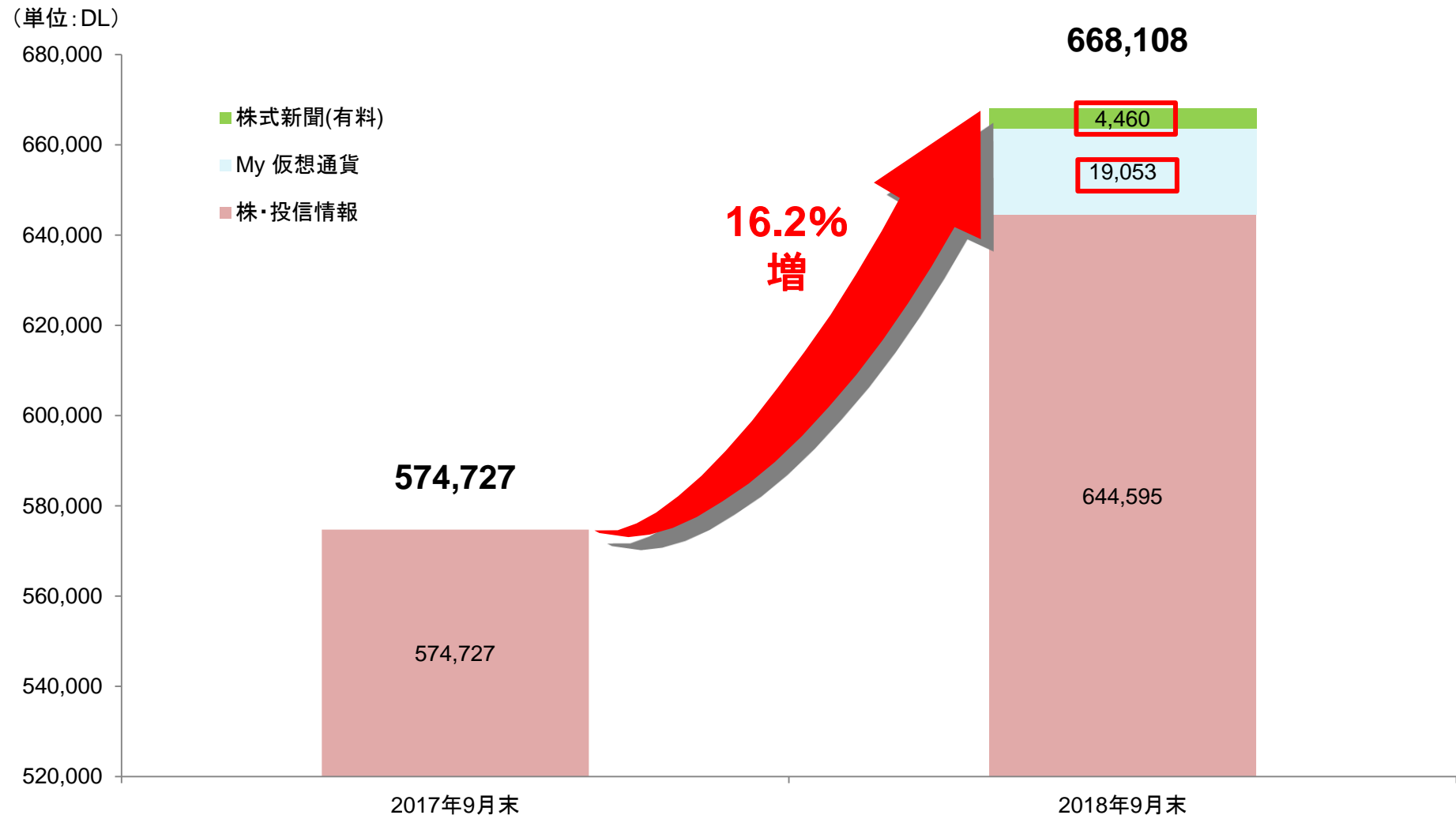


KPI - ②スマートフォンアプリのダウンロード数

スマートフォンアプリのダウンロード数は約66万に

新たに「仮想通貨」と「株式新聞」のスマートフォンアプリが加わる

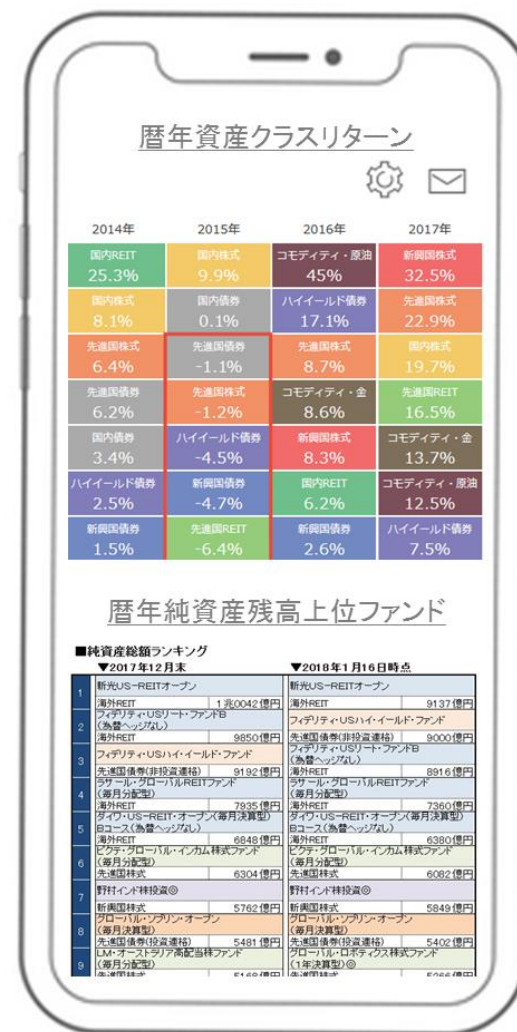
<スマートフォンアプリのダウンロード数>



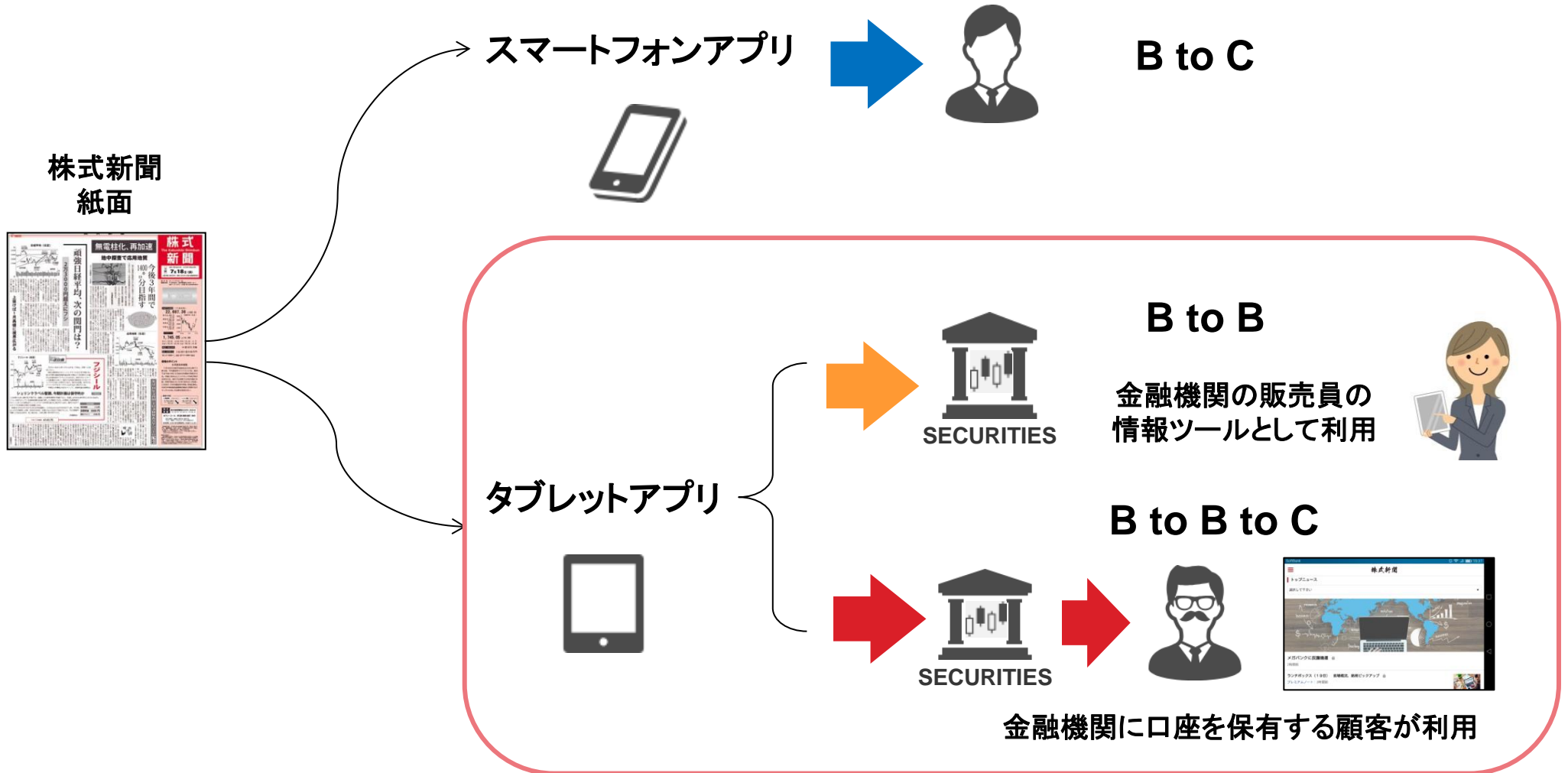
「株・投信情報」のスマートフォンアプリは 豊富な投信データベースをフルに活用して、機能拡充を行う

- ・ファンド検索機能の拡充
- ・時系列データの拡充
- ・運用成績の要因分解

一部機能を有料化し、2019年4月にリリース予定



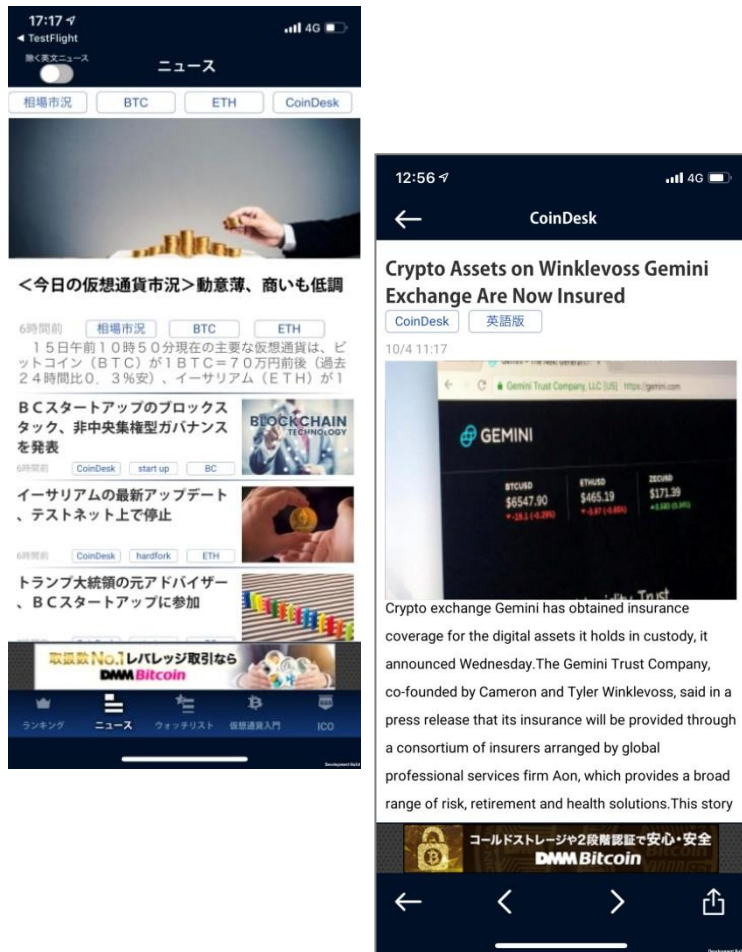
「株式新聞」はスマートフォンアプリとタブレットアプリの プロモーションを積極的に展開



「My仮想通貨」は年末までに大規模リニューアルを予定

【Coindeskの翻訳ニュースの本数増大】

翻訳ニュースを月間50本⇒75本に増加
英語版の速報記事もリアルタイムで配信を開始



【マーケット機能】

各通貨の動きが一覧で見られる画面の提供



【ポートフォリオ機能】

取引所とAPI連携で自動的に各個人の口座情報を閲覧できるようにする

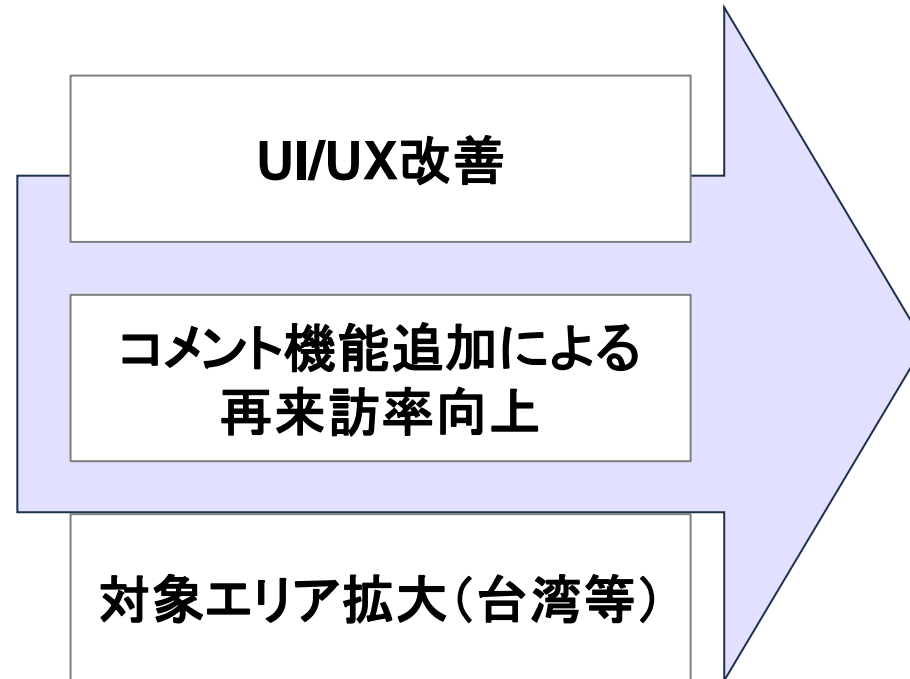


KPI - ②スマートフォンアプリのダウンロード数

サーチナはリニューアルにより スマートフォンアプリのダウンロード数の拡大を目指す

<現在のサーチナアプリ>

<リニューアル>



イー・アドバイザーのスマートフォンアプリで、「投資信託」と「保険商品」をセットにしたロボ・アドバイザーを提供

コストが高く、運用利回りの低い「年金保険」の代わりに、「運用」と「保障」を分けた投資を促す
SBI証券および**SBI生命**の仲介業として展開
 <運用> <保障>

イー・アドバイザー
 <サービス初回利用>

SBI証券&SBI生命
 <仲介先での取引>

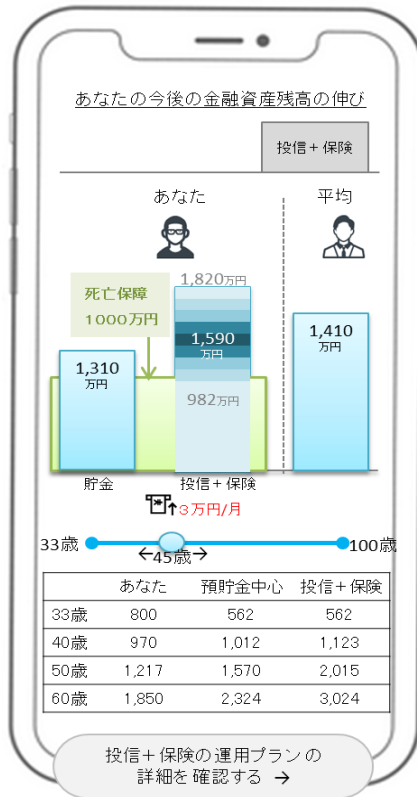
イー・アドバイザー
 <モニタリング>

投信と保険をセットにしたロボ・アドバイザー
 <運用><保障>

(SBI証券)
 投資信託積立取引

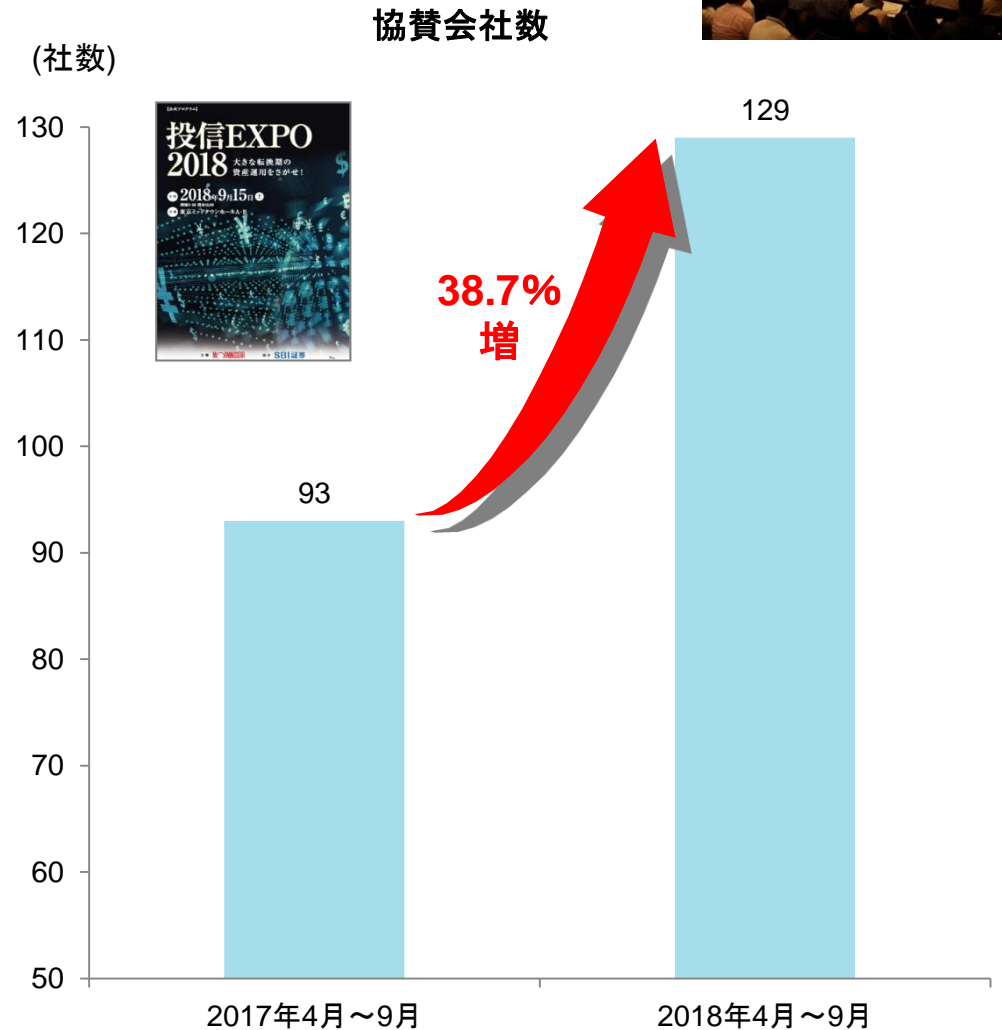
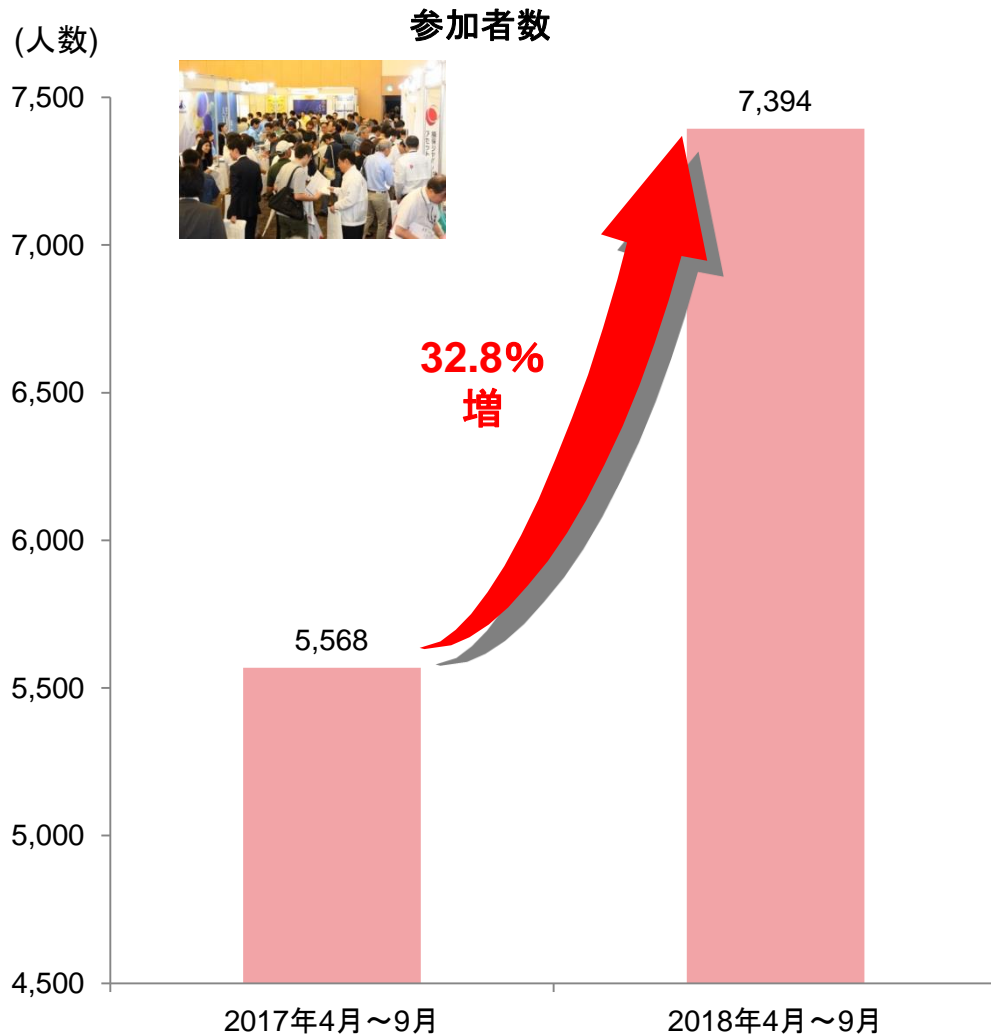
(SBI生命)
 定期保険契約

運用状況のモニタリング



ユーザー数の拡大によりセミナーの参加者数も増加し、 メディアソリューションの拡大に寄与

セミナーの参加者数、協賛会社数共に3割超の増加



来期からRPAによる時間とコストの削減効果が生まれる

業務削減は年間約27千時間、削減効果は8,000万円を見込む

	業務内容	RPA実施前 (時間/年)	RPA実施後 (時間/年)	削減時間(時間/年) 削減率(%)	削減コスト※1 (百万円/年)
①	投信データ入力 (目論見書)	6,360	750	5,610 (89.2%)	16.83
②	投信データ入力 (運用報告書)	12,500	1,500	11,000 (88.0%)	33.00
③	法定資料PDF更新 ※2	8,362	1,500	6,862 (82.0%)	20.58
④	株式ニュース記事作成 (決算短信)	1,050	350	700 (66.6%)	2.10
⑤	株式評価レポート作成	3,200	400	2,800 (87.5%)	8.40
	合計	31,472	4,500	26,972	80.91

※1. 削減コストの算出では、人的コスト1時間3,000円として計算

※2. 法定資料PDF更新とは、運用会社が発行する目論見書、運用報告書、月報、販売用資料などのPDF資料を運用会社から収集し、販売会社サイトへ配布するサービス

SBIアセットマネジメントの運用残高の推移

2018年9月末現在の純資産総額=3,045億円



※データ期間: 2016年6月～2018年9月

SBIアセットマネジメントの運用残高上昇の要因

資金流入状況

(単位: 億円)

	運用資産 残高	増減額 ①+②	要因分析	
			純資金流入額 ①	運用増減額 ②
2017年9月末	2,702	344	453	-109
2018年9月末	3,045			

主要な純資金流入ファンド

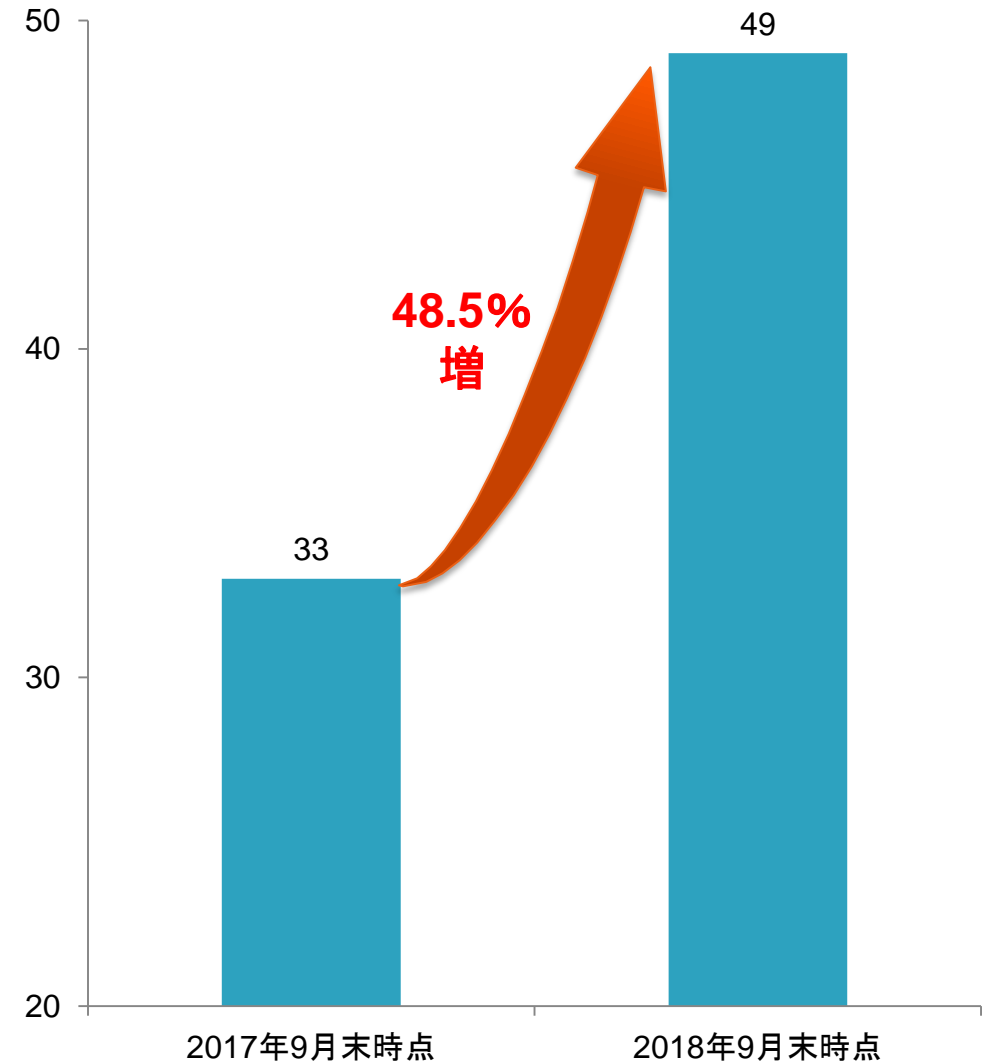
(単位: 億円)

順位	私募/公募	ファンド名	純資金流入額
1	公募	SBI中小型割安成長株ファンド ジェイリバイブ(年2回決算型)(jrevive II)	388.7
2	公募	SBI小型成長株ファンド ジェイクール(jcool)	106.5
3	公募	EXE-i シリーズ (先進国株債、新興国株、グローバルリート、 グローバル中小型株)	49.1
4	私募	SBI/FOFs用日本中小型株ファンド (適格機関投資家限定)	46.3
5	私募	SBI/J Flag ジャパン・エクイティファンド (適格機関投資家私募)	40.0

純流入ファンド40本 1,104億円
 純流出ファンド18本 △651億円
 合計 453億円

販売会社数の増加

(社数)



SBIアセットマネジメントの運用残高増大に向けた商品戦略

2020年3月末迄に+5,000億円の増額を目指す

運用資産残高: 3,045億円 (2018年9月30日現在)

	国内	グローバル	新興国	
商品 (ファンド)	<p>新しいコンセプトの日本株ファンド + 500億円 <small>設定に向けて調査中</small></p>	<p>定率払い出し型ファンド + 1,000億円 <small>8月より設定開始、取扱販社(SBI証券、 楽天証券、静岡銀行、中国銀行)</small></p>	<p>FinTech 中国株ファンド + 200億円</p>	
	<p>Jシリーズ 1,227億 ⇒ 2,600億円 ① + 1,373億円</p>	<p>日本・アジアフィンテック 35億 ⇒ 160億円 ② + 125億円</p>	<p>iDeCo 新規設定済み ③ + 150億円</p>	<p>アジアフロンティア 20億 ⇒ 210億 ④ + 190億円</p>
	<p>グローバルESG バランスファンド + 300億円 <small>年末年始の設定に向けて取り組み中</small></p>	<p>元本確保型 バランスファンド + 1,000億円 <small>ファンドストラクチャーを最終確認中</small></p>	<p>インド&ベトナム株 88億 ⇒ 250億円 ⑤ + 162億円</p>	



<純資産拡大の施策>

- 1) 新規販社の獲得
- 2) デジタルを活用した積極的な情報提供
- 3) ブランディングの再構築 / Jシリーズ、日本・アジアフィンテック
- 4) 新しいファンドの 카테고리 / 定率払出型ファンド
- 5) 顧客が求めるファンドの設定 / グローバルESG,元本確保型ファンド等

既存ファンドの増額	: 1,890億円	①+②+③+④+⑤
新ファンド	: 3,000億円	
合計	5,000億円	

Part 2

資産運用会社の買収 & 東証一部市場変更に向けた準備

買収先の米国資産運用会社Carret Asset Management の概要

(1) Carret Asset Management LLCについて

- ① 1962年の創設。55年の運用実績
- ② ファンドの純資産残高(運用残高)
約2,842億円(\$25億)(2018年9月末)
- ③ 創設者のPhilip Carret氏は長期バリュー投資の哲学を世に広めた第一人者
- ④ 運用残高全体の約7割が債券、3割が株式
- ⑤ 主要な顧客は、ファミリーオフィス、個人富裕層、機関投資家

MORNINGSTAR

 67%

Carret Holdings Inc.

 100%

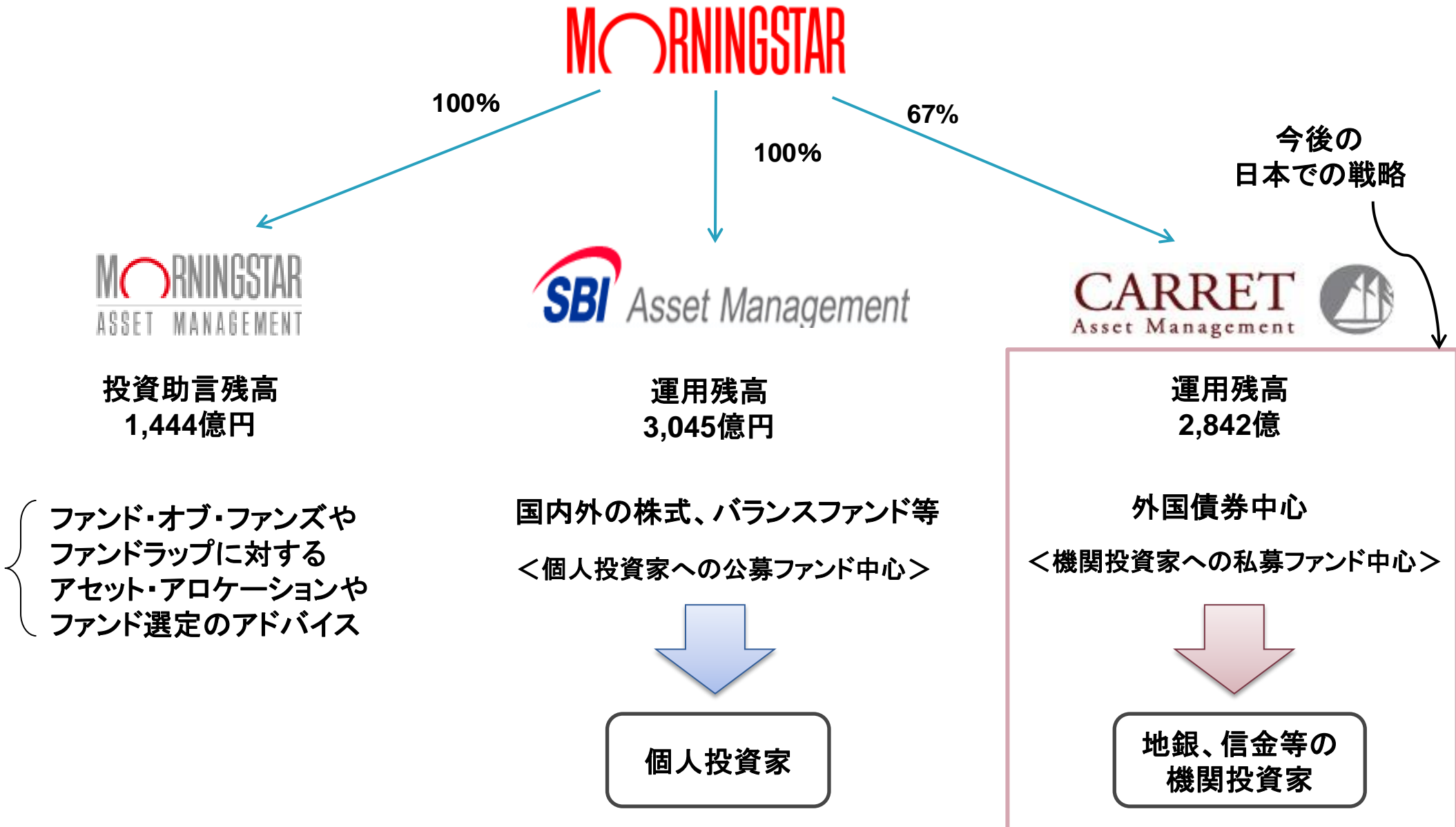
CARRET 
Asset Management

(2) Carret Asset Management LLCの業績

(単位: \$百万)

	2017年12月期 (実績)	2018年12月期 (予想)
売上高	9.0	9.5
営業利益	1.0	1.1

モーニングスターグループの資産運用事業



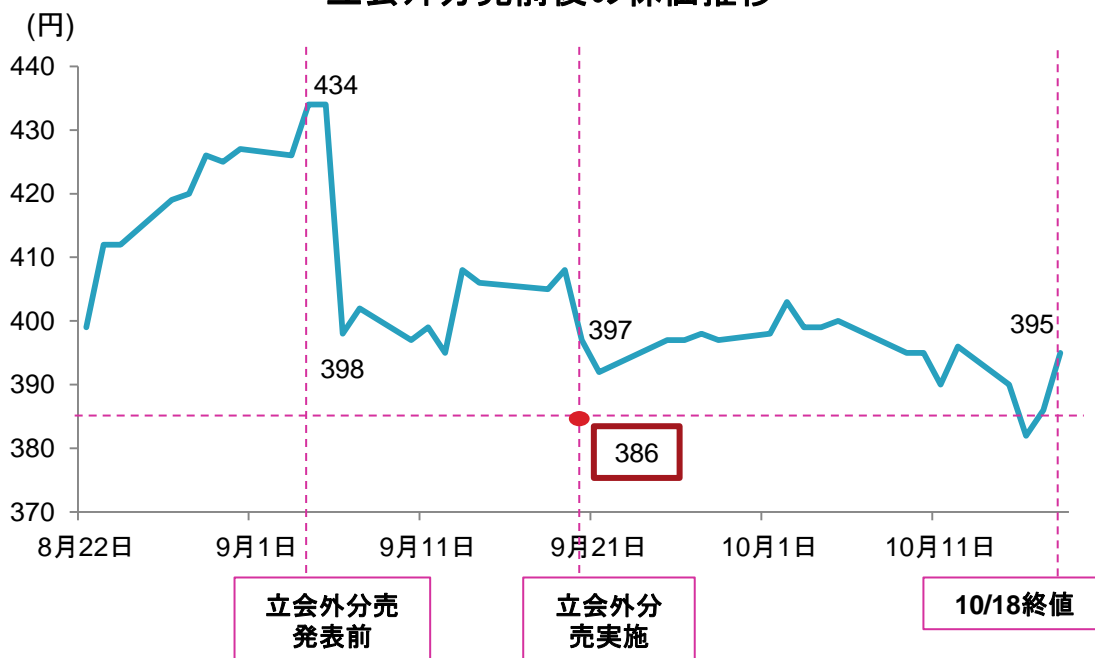
※運用残高、投資助言残高は2018年9月末現在

東証一部市場変更に向けた立会外分売の実施

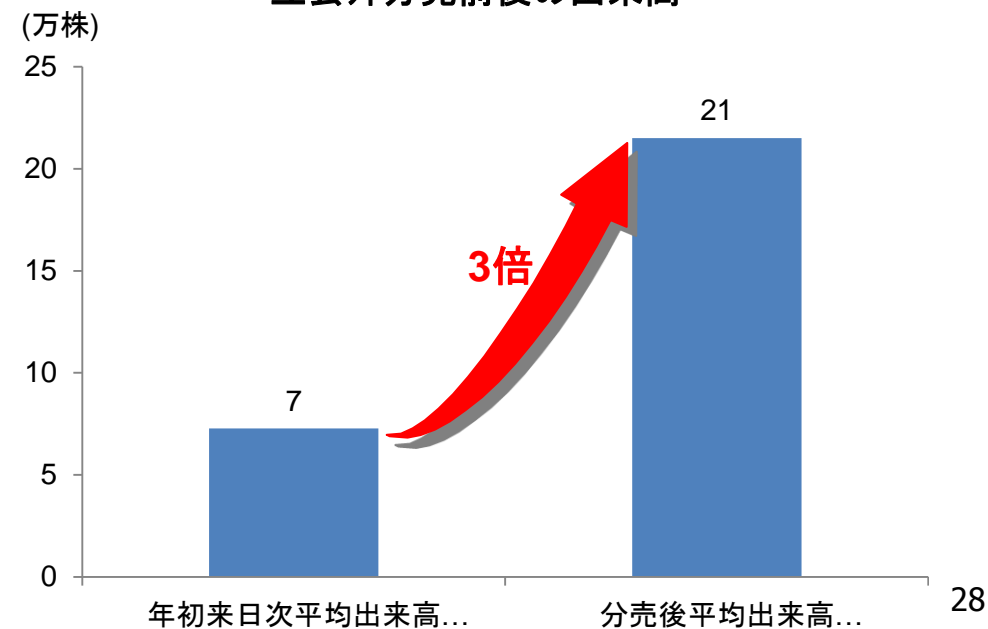
分売日: 2018年9月21日(金)
 分売株数: 3,350,000株(発行済み株式総数:4.00%)
 分売人: SBIグローバルアセットマネジメント 1,000,000株
 モーニングスター・インク 2,350,000株

	立会外分売発表前	立会外分売実施時	直近終値
時点	9月5日終値	9/20終値397円 2.77%ディスカウント	10月18日終値
株価	434円	386円	395円
発行済み株式数	83,973,600株	83,973,600株	83,973,600株

立会外分売前後の株価推移



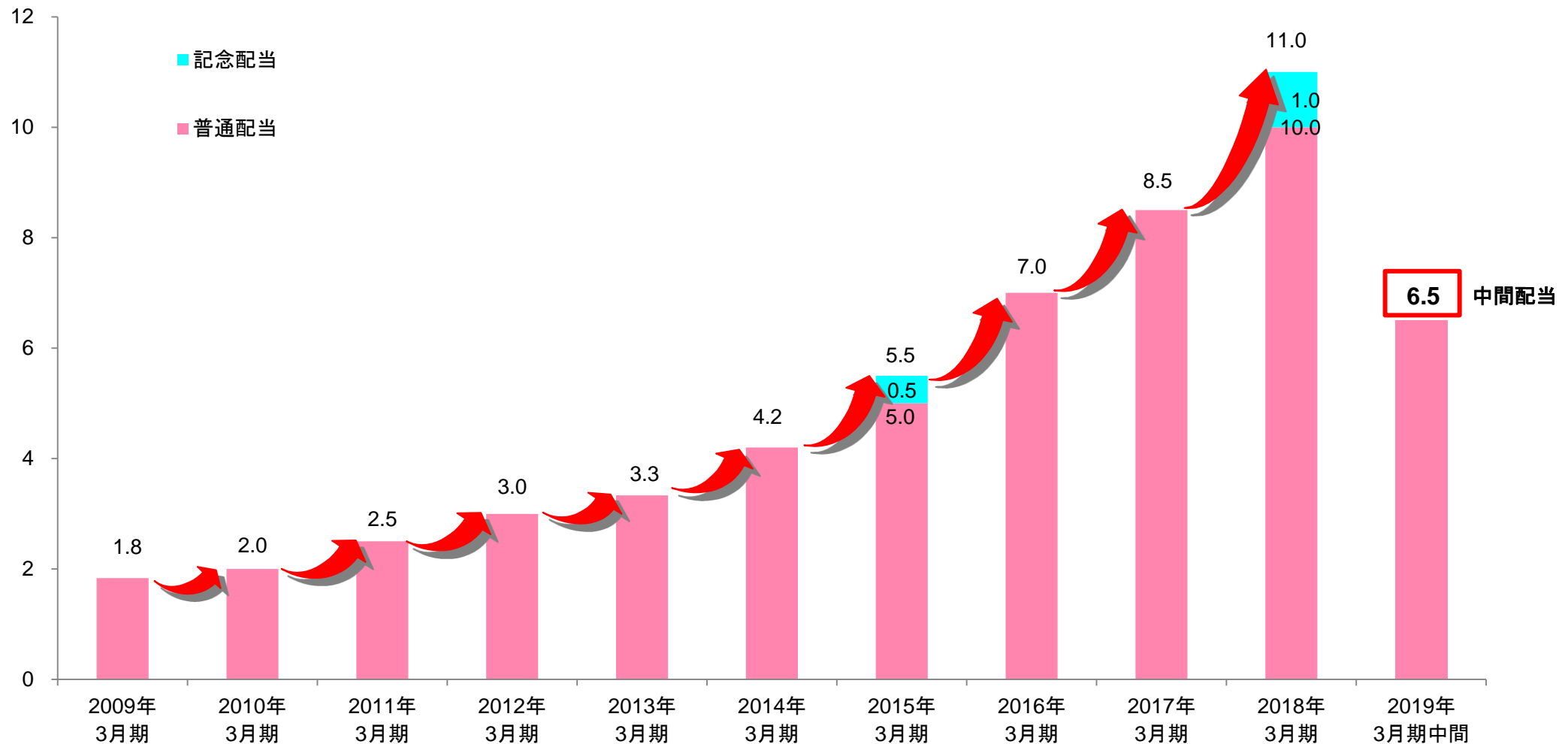
立会外分売前後の出来高



上場後、初の中間配当の実施を発表 中間配当：一株当たり6円50銭

2018年3月期までの通期配当は9期連続の増配を実施

(単位:円)



株主数の推移

立会外分売実施により、株主数は前期末比 3,042人(35.4%)の増加

(単位:人)

